

中期経営計画(2017年度～2019年度)の概要

日本曹達グループの新たな経営目標として中期経営計画(2017年度～2019年度)を策定しました。長期経営ビジョン「Chemigress to 100」における取り組みの最終ステージとして、これまで進めてきた成長戦略を深化させるとともに、2020年の創業100周年以降のさらなる企業価値の向上に向けて、強固な企業基盤を構築します。

▶ 中期経営計画の基本目標

「事業収益力の向上」と「新規事業の創出」

成長ドライバーを
核とした
既存事業の拡大

新規事業の
創出・開発推進

グループ事業基盤
の強化

CSR経営の深化

▶ 2020年にめざす姿

長期経営ビジョン「Chemigress to 100」

(2011年～2020年)

- 1 農業・医療・環境・情報といった健全な社会の発展に欠かせない事業分野を中心に展開し、有用な新しい製品や事業を継続的かつ安全に提供することで、幅広く社会貢献を行う。
- 2 地球環境とCSRに配慮する化学を中心とした事業グループとして、国際化社会における存在感と必要性を高める。
- 3 チャレンジ精神に溢れ、グローバル競争に勝てる企業集団を形成し、グループ全体の企業価値を総合的に高め、大きく飛躍する。

▶ 創業100周年以降の日本曹達グループの姿

中期経営計画期間における基盤強化により、新たな成長ステージでの飛躍を想定

▶ 中期経営計画の基本目標			中期経営計画期間		創業100周年以降	
経営指標	数値目標(2020年3月期)	2017年3月期(実績)	長期経営ビジョン「Chemigress to 100」 最終ステージ		新たな成長ステージでの飛躍	
営業利益率	6.5%以上 (商社事業を除く 営業利益率8.0%以上)	4.2%	事業収益力の 向上	既存事業の拡大	農業 化学品	新規農業を軸とした製品ポートフォリオの刷新・強化による収益性の大幅改善
経常利益	130億円	99億円		新規事業の創出・開発推進		化学品
ROE*	7.0%以上	6.6%	新規事業の 創出	グループ事業基盤の強化		
投資金額 (3年間)	500億円 (成長投資100億円、 維持更新投資200億円、 M&A等200億円)					

※各部門が収益性・効率性の継続的な改善を図ることによってROIC(投下資本利益率)を改善し、当社グループ全体のROEを向上させる

CSR経営の深化

「企業価値を高めるCSR」「企業価値を守るCSR」の両立

企業価値を守る CSR

健全で透明な企業経営を行い、社会の発展に貢献

コーポレート・ガバナンスのさらなる強化

▶ すべてのステークホルダーから信頼される企業を実現

社会と環境に配慮した「日曹安全」「日曹品質」の維持・改良へ取り組み

ダイバーシティ、ワークライフバランス、キャリアビジョン・サクセッション(後継者育成)プランを推進

▶ 多様性の受容、働きがいと誇りの持てる職場の実現
▶ 人財価値の向上を図る

継続的な社会責任活動の実施

企業価値を高める CSR

「農業」「医療」「環境」「情報」を主要ドメインとしたグローバル社会の課題への取り組み

農業 ▶ 農業による食糧安全保障
▶ 持続可能な農業への貢献

医療 ▶ 医薬による健康をすべての人に届けることへの貢献

環境 ▶ 化学による健全な資源循環への貢献(水・廃棄物)

情報 ▶ 高性能な材料の提供によるすべての人・環境に優しい情報機器実現への貢献

CSR経営の深化により、社会から求められる化学企業グループとしての健全な発展を推進